



校長だより

日中丸



第19号
H30. 11. 9

日間賀中学校長
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さんが作成

日中祭 11.6(火)

日中祭が開催されました。今年のスローガンは、「Colorful World ～日中を個性の色で満たそう！」です。各学級・部が、自分たちの個性を生かそうと、工夫して企画・運営を行いました。一人一人が個性を發揮しながら、互いを思いやり協力する姿が随所に見られました。小学生や保護者、島民の方々も参加してくださり、楽しい1日となりました。ご来校いただきました皆様、ありがとうございました。





「日中祭」振り返り

日中祭の振り返りから、多くの生徒が自分自身の成長を感じることができた様子がうかがえました。

日間賀の人たちとのふれあいやあいさつ、声かけなど様々なことができた。あまりしゃべったことのない人やたくさんしゃべったことのある人など、たくさんの小学生や島民の方と話げできた。
(1年 坂口天璃さん)

人とふれあうことができたし、日中祭の前からクラスのみんなで一生懸命準備をして、今日、成功した達成感を感じられた。また、みんなで協力できた。
(1年 北川結唯さん)

次に何をすればいいかということを考えながら行動できた。
(2年 大西洸太郎さん)

ダンスやムービーなど、みんなで協力してつくることができた。
(2年 鈴木里々香さん)

今日一日楽しく過ごし、クラスで一つのことを成し遂げることができた。
(3年 田中翔也さん)

生徒会役員をやれたことによって、人前で話すことに慣れたと思う。
(3年 坂口あずささん)

朝会より 11.5(月)

生徒発表 (11月のテーマ：私が薦める本について)

久田子寧さん (1年)

私が薦める本は、「キミと出会えた奇跡」です。
この本は、まだ低学年のときに「がん」と言われて余命を知らされ、生きる希望をなくしていた16歳の女の子が、同じ年の明るい男の子と出会い、明るさを取り戻していくお話です。
最後のときまでいっしょにいてくれた仲間たちとの友情や、「明日がある」という幸せと命の大切さ、そばで支えてくれる家族の大切さが書かれています。友情、命、家族の大切さを改めて感じることができます。
図書館には置いていないですが、読み始めるとスラスラ読めて、この本からたくさんことを学べると思うので、ぜひ、読んでみてください。
図書館にも、おもしろい本があると思うので、図書館の本も借りていきたいです。

金原心愛さん (2年)

私が薦める本は、「氷菓」という本です。この本は、青春ミステリー小説です。米澤穂信(よねざわ ほのぶ)さんのデビュー作です。省エネ少年が日常にひそむ謎を解きながら、33年前の謎、そして文集の名前「氷菓」に込められた意味を説き明かしていくお話です。
私がこの本を薦める理由は2つあります。
1つ目は、謎を解き明かしていくときのドキドキや、わくわくなどがたくさんあることです。
2つ目は、テレビアニメ化や実写映画化しているほどおもしろいからです。
だから私は、「氷菓」を薦めます。「氷菓」は、学校の図書館にあるので、ぜひ、読んでみてください。